

別表

共通機器課金単価表(2024年度)

設置場所	装置名	共通機器名(申請書リスト名)	摘要	課金単価(税込)	測定予定試料・時間数推計上の目安・備考
実験室03	マイクロダイセクター	ダイセクター	マイクロスケールでの試料切断・回収	なし	備考1
	マイクロドリル ジオミルシステム	Geomil	マイクロスケールでの試料切削・回収	なし	備考1
	多機能顕微鏡	顕微鏡	組織や構造の観察	なし	備考1
実験室06	マイクロ波試料分解装置	マイクロ波分解	ICP-MS等の試料の前処理	なし	備考1
実験室07	ガンマ線スペクトロメーター	γ線		2円/100秒	1 サンプルの測定時間:約72時間
	表面電離型質量分析装置(TIMS)	TIMS-W-filament	ストロンチウム等の同位体	1,500円/測定	未知試料数×1.1(標準試料込み)
		TIMS-Re-filament	ネオジウム等の同位体	2,200円/測定	未知試料数×1.1(標準試料込み)
		TIMSのみ	利用者選定同位体	3,000円/日	標準物質・フィラメントは利用者が用意すること
	高分解能マルチコレクター誘導結合プラズマ質量分析装置(MC-ICP-MS)	MC-ICPMS-only	多元素同位体測定:試料作成を含まない	3,000円/時間	Sr:未知試料数×1.2(標準試料込み),10分/測定
MC-ICPMS-set		多元素同位体測定:試料作成を含む	4,000円/時間	Pb:未知試料数×2(標準試料込み),15分/測定	
実験室08	誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)	ICP-MS	無機多元素質量分析	2,500円/時間	未知試料数×1.5(標準試料込み),10分/測定
実験室08	元素分析装置付き安定同位体比質量分析計(EA-IRMS)	CN-IRMS	有機物のC,N同位体	105,000円/サイクル	1サイクルでの測定可能数(標準試料込み)は100~400程度(試料による),備考2・3
		CN微量-IRMS	微量な有機物のC,N同位体	96,000円/サイクル	1サイクルでの測定可能数(標準試料込み)は80~250程度(試料による),備考2・3
	オンラインガス調製/導入システム付き安定同位体比質量分析計(GB-IRMS)	炭酸塩-IRMS	炭酸塩, DICのC,O同位体	200円/測定	未知試料数×1.1(標準試料込み)
		有機物OH-IRMS	有機物のO,H同位体	400円/測定	未知試料数×1.5(標準試料込み)
	熱分解型元素分析装置付き安定同位体比質量分析計(TC/EA-IRMS)	有機物H-Cr-IRMS	有機物のH同位体(N含有有機物など:比較平衡法)	450円/測定	未知試料数×1.5(標準試料込み)
		有機物H-Cr-IRMS-UP	有機物のH同位体(N含有有機物など:UniPrep水平衡法)	80,000円/サイクル	1サイクルでの測定可能数は目的により変わるため事前に要相談,備考2
		元素分析装置付き安定同位体比質量分析計(EA-IRMS)	S-IRMS	無機・有機物のS同位体	78,000円/サイクル
	デュアルインレット分析(Dual Inlet-IRMS)	Dual Inlet-IRMS	ガス態の同位体	なし	標準ガスは利用者が用意すること
	水平衡装置付き安定同位体比質量分析計(水平衡OH-IRMS)	水平衡OH-IRMS	水のH,O同位体	要相談	分析数に依存するため、あらかじめ相談すること
	ガスクロマトグラフ燃焼装置付き安定同位体比質量分析計(GC/C-IRMS)	GC/C-IRMS	化合物レベル同位体	要相談	分析試料・手法により変動するため、あらかじめ相談すること
実験室10	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	ICP発光	無機多元素同時定量	1,500円/時間	未知試料数×1.3(標準試料込み),5分/測定
	誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS/MS)	ICP-QQQ	無機多元素質量分析	2,500円/時間	未知試料数×1.5(標準試料込み),10分/測定
	水同位体比分析装置(CRDS)	Picarro	水のH,O同位体	400円/測定	未知試料数×1.5(標準試料込み)
	イオンクロマトグラフ(IC)	イオンクロ	溶液中の無機イオン濃度	400円/測定	未知試料数×1.3(標準試料込み)
実験室11	低温灰化装置	低温灰化	揮発性無機元素の損失を抑えた灰化処理	なし	備考1
実験室17	試料粉碎装置ミキサーミル	ミキサーミル	少量の試料の粉碎	なし	備考1
	試料切断研磨装置	Discoplan	岩石等の固体試料の切断および研磨	なし	備考1

備考1:試料前処理に用いるものであるため、単独での課金は発生しない。

備考2:CN-IRMS, CN微量-IRMS, S-IRMSおよび有機物H-Cr-IRMS-UPは、装置の立ち上げ回数(サイクル)に応じた課金となっている。分析数(標準試料込み)が少ない場合は、他の利用者として1サイクルをシェアして利用することも可能である。シェア利用を希望する場合は、申請時にその旨を明記すること。詳細は、毎回の装置利用申請後、計測・分析室と相談の上決定する。

備考3:ヘリウム供給難の現状を鑑み、当面は1サイクルでの測定数におおよその下限を設けることとする(生物試料の場合、標準試料込みの測定数が、CN-IRMS:約250以上, CN微量-IRMS:約170以上, S-IRMS:約100以上、他の種類の試料については計測・分析室まで問い合わせること)。測定数がこれを下回る場合は、他の利用者とのシェア利用となる。